

第29回 総会・懇親会が開催されます。

同窓生の皆さま、同期生をお誘いのうえ、
親睦を深める、楽しい集いに参加して下さい。



静中・静高関東同窓会
会報 第55号
平成15年5月31日発行
編集人 山梨由記

平成十五年度
関東同窓会総会・懇親会を開催します。

日時 七月四日(金) 午後六時より
場所 中央大学駿河台記念館三階三七〇号室
東京都千代田区神田駿河台二一―五
(電話 〇三・三二九二・三二一一)

会費 三,〇〇〇円(但し、学生は一,〇〇〇円)
(年会費の三,〇〇〇円は当日、受付も)

議題
平成十四年度事業報告、会計報告
平成十五年度事業計画、予算承認

講演 村松友視氏(七五期 作家)

大正から昭和にかけて活躍した村松梢風の孫に
当たる。軽妙洒脱な語り口はその興味ある内容
と共に聴く者の気持ちを引き付けて止まないで
しょう。プロフィールは次のページにて、ご案
内しております。

案内図



総会終了後は、懇親会が開催されます。本年は81期の当番幹事
の皆さんが準備をして呉れております。会場を三階から移して、
一階の第一ホテル直営のレストラン・プリオールとなります。
例年、懇親会の会費を五千円として来ましたが、昨年と同様の
三千円と致しました。静岡から恒例の美味しい黒はんぺん、わ
さび漬けも届きます。会場は「JRお茶の水駅」から二、三分
の近くで解りやすい会館ですので、大勢の同窓生をお誘いあわ
せの上、お気軽にご参加下さい。同封の葉書に、恐れ入ります
が、五十円切手を貼付して、出席か欠席かを、又近況を記入し、
同期生の消息をご存じの方は裏表の欄に記入して、六月十八日
までに投函して下さい。

ファクシミリにて送信の場合は
03・3257・0820まで、お願いします。

静中・静高創立百二十五周年記念歌

讃歌

作詞 長嶋 勲

作曲 川辺 真

一 今 それぞれの 太陽が
 遙かに 解き放つ 千の光
 空を駆け 富士を越え 萌える瞳は
 真つ直に照らし出す 立ち向かうべきを
 静高 静高 静高 輝き熱く 限りなく
 静高 静高 静高 真の勇氣に 奮い立て

二 今 大いなる 伝統を

育み 解き放つ 千の力
 いくつもの 海を越え 深い感動は
 果てしなく 鳴り響く 普通の活路に
 静高 静高 静高 かけがえない 風受けて
 静高 静高 静高 真の自由よ 降りそそげ
 静高 静高 静高 闊いの意味 寛く知る
 静高 静高 静高 真の勝利に 讃えあれ

「讃歌」完成

100期 恒光 隆法

皆様、こんにちは。応援指導部のOBです。私は、同窓会の新「静高の歌」製作委員会委員の一人としてお手

伝いをさせて頂いております。この度、125周年記念歌である「讃歌」が完成致しましたので、ご報告をさせて頂いたくなります。新しい静高の歌としては、創立100周年で制作された「岳南健児意気高し」以

来25年ぶりとなります。この讃歌は平成14年4月に応援指導部及びOB会から同窓会に対して「創立125周年を記念して静高に新しい応援歌を作りたい」と言う提案から始まりました。そして同年2月、同窓会内にプロジェクトが発足し、制作がスタートしました。

歌詞は一般公募53点の内から、同窓会長、学校長を含む7名の選考委員による審査の結果、101期の長嶋勲氏の作品が選ばれ、作曲は84期で歌詞の選考委員の一人である川辺真氏に依頼しました。

去る4月27日(日)、静岡球場において行われた「第45期静高野球定期戦」において公式に発表されました。試合開始前に静高と静岡のブラスパンドによる演奏が行われ、讃歌は両校の友情にも一役かかったかたちとなりました。又この讃歌を全国の静高静高卒業生に御聴き頂きたいと言う事で、現在CDの制作も進められております。このCDは、100周年の際に制作されたLPレコードを再編集するとともに、新たな讃歌と校歌を録

音し直しました。校歌については通常のコーラス入りに加え、静中卒業生のために4番までのカラオケを収録してありますので、各期の同期会においてご利用いただける様になつておられます。販売については、別途ご案内させていただきます。

讃歌は現役静高生のみならず、卒業生を始めとする関係者にも受入れられる応援歌をコンセプトに作られております。最終的な目標と致しましては、11月15日(土)、静岡のグランシップで挙行される記念式典において会場全体でこの讃歌を大合唱する事にあります。したがって一人でも多くの静中・静岡関係者の皆様に覚えていただき、そして歌っていただきたいのです。そして125周年という祝賀を共有出来たならば、こんなに嬉しい事はありません。どうか皆様の暖かい応援をお願いしますと思っております。よろしくお願い申し上げます。



村松友視さんのこと

71期 浦田 彰

皆さん先刻ご承知のことと思いますが、村松さんは静岡高校の卒業生(75期)です。昭和十五年の東京生まれですが、少年時代を清水市で送り静高から慶応大学文学部へ、昭和三十八年卒業と同時に中央公論社へ入社、「海」などの文学史の編集を二十年近く担当した後、作家活動に入り、昭和五十七年「時代屋の女房」で第八十七回の直木賞、平成九年「鎌倉のおぼさん」で泉鏡花文学賞を受賞するなど、そしてその間、「海猫屋の客」「由比正雪」「サイゴンブルー」「夢見そば」「芝居せんべい」などなどの小説のほか、隠れなき格闘技ファンとして「私、プロレスの味方です」「力道山がいた」、隠れた愛猫家として「アブサン物語」、角界の人間像に迫った「男装の麗人」「百合子さんは何色 武田百合子への旅」「黒い花びら」「トニー谷、ざんす」「雷蔵

静岡の万葉を歩く

(二十六)

51期 原崎 郁平

浜松市鹿谷町十一—二

浜松市立文芸館前庭

引馬野に

匂う榛原（はりはら）

入り乱れ

衣にははせ 旅のしるしに

長忌寸奥麻呂

(巻一・五七)

「好み」などなど、更には優れたルポタージュで古都ファンを魅了した「俵屋の不思議」や地方都市の一隅を暖かくみつけた「市場の朝ごはん」などなどノンフィクションの分野でも数々の作品を発表して、今や文壇でも最もアブラの乗り切った作家の一人です。郷土の皆様のためにも「だけん、人はいいだよ。駿河ビール物語」や「巴川」などがあり、おいおいに静岡人気質をアピールしてくれています。

村松さんの高校時代は？と聞きましたがねイヤ別に……至極平凡な高校生だったよ、というご本人の弁でしたが……

……。とはいえ、昭和六十二年度の新語流行語大賞の栄誉に輝いた某洋酒メーカーの「ワンフィンガー・ツーフィンガー」CMに登場した村松さんの苦み走った男振りに惚れたという女性は岳南健女だけでなし……とすれば、岳南健児だった村松さんの高校生活は果たして？

(豪御免 文中作品は筆者好み(みに限り紹介))

を得て白御影石に彫ったものである。浜松市民とすれば、引馬野が現在の三方原であり、榛原は市の花である「萩」とする加茂真淵の説に共感する立場から感銘を覚えるものであろう。

浜松市は人口五十六万人の「やらまいか」の都市である。若き徳川家康が十七年間居城とした浜松には、家康の生きざまが後世様々な形で浜松人の気風として残った。浜松は

東京と大阪の中間で古くから東西交流の要所として栄えた。昔は繊維産業が栄えたが最近ではピアノ・オートバイの都市である。ヤマハ・カワイ・トヨタ・ホンダ・スズキなど国際ブランド製品は浜松の風土が生んだ「やらまいか」魂の集大成である。記憶にも

歌碑が立っているところは、浜松城跡の北側、西循環バスで文芸館前、又は館山寺温泉行で鹿谷町下車三分の浜松市立文芸館の敷地内である。

この歌碑は、森鷗外作「浜松市歌」第一節にかかわりのある長忌寸奥麻呂の作とされ、作家武者小路実篤の筆跡



回想・随感など

靖国神社孝

第54期 安東哲夫

新しい昨年のノーベル賞の小柴昌俊先生の作ったスーパーカメラカンデに使用されている光電子倍增管は、浜松に本社を置く「浜松ホトニクス」の製品である。浜松ホトニクスの社長昼馬輝夫さんはテレビの生みの親である故高柳健次郎先生の門下生である。

この地方に次のような民話がある。浄妙寺というお寺に狐が祀ってあった。その和尚さんは、時々肩が凝るので膏薬を薬屋に注文しては使っていた。ところがある月、一度も注文した事もなく膏薬を用いもしなかったのに、その月末に薬屋の小僧が代金を取りに来た。和尚は不思議に思っただけでよく調べたがどう考えても思い当たらない。そこで小僧に更に調べさせると、通帳にはつきりと膏薬一枚と書き入れてあり日付まで書いてある。それで和尚さんはつくづく考え「これはきつと狐の奴が買ったに相違ない」と考え代金を払ってお経を上げ、祀ってあった狐の姿を眺めると、狐は和尚の真似をしてべつたりと大きな膏薬を体に貼っていたという。

私は去る四月五日友人とともに十二名で靖国神社の昇殿参拝を行った。当日境内の桜は満開であったが、雨風が強くと正に花冷えの一日であり、却って身の引き締まるのを覚えた。何時もながら参集殿に掲げられている草地貞吾先生の御歌「靖国の宮居の奥の大鏡 映すや戦友の若き面影」を心に刻み、本殿に進み拝礼。英霊の御心のやすらかならむことを祈念するとともに、わが国の平安と世界の平和を守護り下さるよう英霊の御霊に祈りを捧げた。今回も草地先生の御歌のとおり、磨かれた大鏡の前に額ずくと、凜として微笑で若い同期生が、最後に別れたときのそのま、に映されるのであった。彼たちはどんな思いで最後を遂げたのであるろうか、そしてわが国の現状について「こんな筈ではなかった」との想いを深めているのであろうことを思うと、申し訳ない気持ちが高ま

り、靖国神社の問題については、命のある限り出来る限りの努力をすることを誓ったのであった。

私は昭和十七年陸軍經理學校卒業、福知山の歩兵第十三五連隊勤務を経て十八年八月野戦重砲兵第三連隊付となりビルマに越任、インパール作戦に従事、作戦途中十九年五月第十五軍經理部隊部員に転補され、タイ国ランパンで終戦を迎え、二十一年六月浦賀に上陸、直ちに復員、母の住む静岡市の住人となった。当時食うことが精一杯で進学もままならず、変わり果てた国家の現状を見るにつけても心の虚しさは何処ともし難く、上京を決意し、靖国神社と陸軍經理学校の跡地（新宿区河田町）の有様を目の当たりにした。学校の跡地はコンクリート堀がそのまま残っている他、何もないのはやむをえないとして、靖国神社の玉砂利はどうしたことだろう。サクサクと踏み締めた参道の玉砂利は見る影もなく、参拝者も心なしかまばらであり、社前に額ずけば涙がこぼれるばかりであった。しかし靖国神社

はその後、紆余曲折を経て、平成十一年の創立百三十年を機に、参道が御影石道に整備され、遊就館の改修及び新館の新築が昨年の夏完了、御祭神名簿の保存・管理体制の確立等英霊の慰霊・顕彰の為の面目が一新されつつあることは誠に慶ばしいことである。しかし靖国神社をめぐる幾多の問題は誠に憂慮にたえざる状況である。即ち総理の参拝を定着させて天皇陛下ご親拝の道を開くこと、戦後世代の英霊に対する崇敬意識の希薄化の改善、靖国神社以下の戦没者追悼施設構想の断固阻止、靖国神社を誹謗中傷せんとする靖国訴訟の問題等。これらを解決してこそ英霊の御心を安んずる道とおもうのであるが、これらに通ずる根本的な問題は、いわゆるA級戦犯合祀の問題である。

先般、靖国神社社頭での広報活動中、ある大学生に、所謂「戦犯合祀の問題」についてどう思うかと質問したが、彼は「戦犯は日本の法律にはないもので、昭和二十七年四月二十八日サンフランシスコ平和条約により日本が主権を

回復する前、連合軍の占領下に於いて国際法に違反した極東国際軍事裁判の判決によるものであって、それによって刑死された方は占領下における死であって戦死に該当するものである。靖国神社合祀は当然であります」と毅然として答えてくれた。しかし一般的にはこのような理解者は少なく既に忘れ去られたかのごとく政治家さえも口にすることの多いことを思い起こす必要がある。即ちわが国が独立回復後の昭和二十七年と二十八年、日本の国会は四千万人を超える国民の署名のもとに戦犯赦免に関する決議案を圧倒的多数で可決している。これは日本国民の総意として東京裁判他の「戦犯」を国内では犯罪者ではないと確認してことである。

英霊は靖国神社で会うことを誓いながら戦死してゆかれた。私はこれからも機会を求めて靖国神社に参拝し、大鏡の御前で御霊とお会いして現状を申し上げるとともに、靖国神社に係る諸問題の解決のため微力を捧げてゆくつもりであります。

心に残る 会報の記事あれこれ

心に残った記事の幾つかを、思い出してみましたが、個人の無責任な独断ですでお許し下さい。編集者にお伺いして調べて戴きました。

『三人だけの同窓会』は61期の相馬孝さんの文章。同期の三人が東京と静岡からたまたまN響コンサートに定期会員で毎回会場でお会いし休憩時間の15分だけ逢って話をして会場に戻る。もう三人の同窓会ができない。(53号)

『芸・話・人と山川静夫の仕事』芸はひとと読む。山川さんがNHKを退職して三越劇場で評判の催し物を聞き、有名な芸能人(職人)を数々あつめて、異色の組み合わせもありで森繁久弥、山田五十鈴、渡辺貞夫のサククスに寶山佐衛門の笛の演奏対話。30数回に及ぶ芸の見事を見せて呉れるのは山川さんの能力と人徳に寄るものでこんないい仕事ができるなんて幸せなやつだ。67期 朝倉勇(48号)

『静岡の万葉を歩く』は51期の原崎郁平さん。25回の連載で其の努力と知識に敬服いたします。

海外Eメールが新傾向です。『ニューヨーク テロ雑感』は9・11の事件に関してのメールでした。現地で働き、生活していた方の実感がひしひしと伝わってきた文章で涙が出てくる程、感激させられた。被災のビルに働く息子さん、お世話していた娘さん、アメリカと日本人の意識の違いなど。寄稿してくれたのは、73期の山口進さん(53号)

『北緯47度』シャトルからは、元船乗りの方の現地報告も他国ならではの情報を伝えて貰い読み応えがありました。73期岩崎秀隆さん(53号)

『S・O・S』と言う詩がありましたかね。モールの救助信号はトットト ツツツ トトトです。皆さん 聞こえますか。救助に向かう事ができますか。それとも、聞こえなかった事にしますか。

64期増田政雄(49号) 『西の汽車通の会』は70期の大高源之丞さんの寄稿分です。静岡に通学するのに静岡よりも西から汽車で通う。その昔の汽車通の仲間の学友が突然気軽に飲もうよと声が掛かり、この名称が付いて、級交を暖める事となる。(52号)

甲府から

57期 名取保明

静中・静岡関東同窓会の新聞を戴きまして感激する思いです。有り難うございました。私は57回卒ですので岩井平一郎君とは同期です。岩井君が妻と同伴にて、甲府の自宅を昨年6月頃、ひよっこり訪ねてくれました。3時間程度話しましたが楽しかったです。新聞を見ますと57期はもう

古く誰も投稿しておらず、やはり年のせいで、もう過去の人間かと思うと残念です。しかし若い人の立派な姿を見てとても嬉しく感じました。

甲府へ山川静夫氏が来た時、楽屋を訪ねて浅間神社の長い階段等、やはり思い出は共通して楽しんでました。静岡ナンバーの車を見るだけで心弾みます。私も静岡競技場でわが静岡陸上800mを県から選択され、上級の選手と走った事はすでにずっと昔の事です。

57期同期は毎年5月第二土曜日、静岡南口 東海会館でしています。3年程前は70名くらい出席でしたがこの頃は50名くらいになりました。

雲遊萍寄

74期 藤原經史

我が母校静岡高校は今年(平成十五年癸未年)で、設立百二十五周年ということになります。地元静岡では、十一月に、その記念式典が開催される予定だそうです。一口に百二十五周年と言われても、その歴史の重さを感じる時、大変な事だと思えます。一世紀と四分

の二ですから、まさしく二十世紀の日本の歴史、世界の歴史を見守って来たわけです。明治維新後の日本の近代の「あけほの」とともにスター

トしたわけです。幾多の困難と、歴史をきざみ、力強く継続してきたわけです。今の様な時代に、継続し、歴史を刻むということは並大抵のことではありません。これも諸先輩の熱い思い、熱い教育の場があったればこそです。

今後益々、その思想、哲学が継承され、数多くの場面に、若き後輩達が、思い切った力を発揮し、この日本に、いや世界に羽ばたいてほしいもの

です。
今年二月七日に、関東静中、

静岡会の新年幹事会がありました。多くの先輩、後輩が集まりました。大先輩の方々と同じテーブルに同席させていただき、いたく感激いたしました。お歳も九十歳近くであります。お慶としておりまして、私もその様な老人になつて行きたいと思つた次第です。

そう言えば、「人生の五計」という言葉があります。南宋の時代、朱新仲という方の人生訓、「生計」「身計」「家計」「老計」「死計」の五計。まさしく私も「老計」の時代に入るわけでありまして、笑顔を

もって、きれいな老人でありたい。老衰ではなく、老熟することでありたい。練達した人になつて行きたいと思う次第です。まさしく、昔、中国の「衛」の国の偉い人に、蘧伯玉という方が、「行年五十にして四十九の非を知る。」「六十にして六十化する。これぞ「老計」学であります。

東京の七四期会も、三月二十九日、桜の満開を伝えられる上野の近く池之端で、関東地区二十数名が集まり、楽しく一時をすごす事が出来まし

た。皆様それぞれ自分の人生を楽しんでおられます。お互い元気で、毎年、数多くの桜の花見が出来る事を、誓い合いました。

関東七四期の仲間では、日軽金の社長、佐藤薫御君、また六月には小糸製作所の社長就任予定の大嶽隆司君がおります。この大変な時代に重責を担い、苦勞も多かるうと思

いますが、同期の桜として、健康にご留意していただき、大いに頑張つていただきたいと思つております。

標題に「雲遊萍寄」とつけました。私はこの言葉が好きです。道元の「正法眼蔵」の中の「辨道話」の巻の中に出てくる言葉です。「時の到るを持つために、雲水の如く、浮き草の如くして、先哲の風をきこえんとす」

まさしく「老計」に入り、日一日を、大切に、また楽しく、風の吹くまま、気の向くまま「天命」に逆らわず生きて行くことも、また大切と思う此の頃です。

座松坂屋で個展があります。今年も四月十七日から二十三日まで開催されました。浦田君も年々熟されて、立派な版画が多くなつております。私も何点か購入して家で楽しんでおります。

静岡県人会のお手伝いもしております。ぜひ静中・静岡会の皆様もご参加下さい。

連絡先、都道府県会館内、静岡県東京事務所内
電話〇三三四三三二三四三三
安形あて。

青春期の企業

76期 鈴木 浩

日本の経済、社会が元気を失つて長い年月が過ぎ去つたが、いまだにトンネルの出口が見えない状況です。成長への意欲を失つた社会、国家は、しだいに輝きをなくし衰えていくと思えます。

超新星の爆発の後で、その飛び散つたガスの中から再び新しい若い星々が産まれるといわれています。旧い体質の企業が時代に遅れてしまつて解体し、その混沌から、又その一部が分離独立して新しい

企業が光り始める、そんな動きが出てきているようです。

新しく企業を起こすチャンスを生かす規制の緩和、そして新規企業を中心とする市場の活性化等、企（起）業家精神を掘り起こす施策が必要であり、現在の停滞感の満ちた社会には、高い社会的地位や、名誉を望み、やる気、情熱を持ち、自らを改革できる者が望まれ、若い企業群を中核とする緊張感のある経済、社会になることが大切だと思う。

日本の開業率は低く、開業後のハードルも高いと聞きます。青春期の企業を発火点として、日本が再生することを望む今日此の頃です。

同期会など

静岡静岡高関東同窓会

近況報告

51期 原崎 郁平

関東地区に在住の同期生が平成15年4月16日に銀座六丁目の和食レストラン富貴洞に集まった。今年の出席者は17名で、広瀬毅君の名司会で始

まった。常連の渡辺功君は大学の学友と沖繩へ旅行中で欠席。同じく常連の静岡在住の狩野安彦君は仕事の都合で欠席のため今回は静岡からの出席はなかったがこの1年間、仲間で亡くなった人はいない。今年の11月15日の創立



125周年記念総会には東京から出来るだけ沢山出席してください。」とのメッセージが紹介された。欠席通知の中の一つだが永井五一郎君の（ひとくち便り）に次の名句がある。

「若き日の 夢を肴と 五一 会 老いてもボケぬ 友はうれしく」 出席者のスピーチは次のようである。田中賢一

君は現在交戦中のイラク戦争について元軍人としての専門的な解説があった。しかもA3の大きさのイラク周辺と東洋の日本の地図をコピーして全員に配り、両方の面積の比較と人口の比率を一覧表で示し解説してくれた。イラク戦争における米英軍の困難さは兵站距離の長さや砂漠地帯という悪条件であることが解説された。田中賢一君は以前から漢詩の素養があり、席上で「航空碑奉賛同人会宴に寄す」と題し「歴史漂う 市ヶ谷の

……」から始まる一連の漢詩のプリントが配布され朗読してくれた。玉越君の話は最近、腰痛でなやまされその上、急に声がでなくなるという苦痛を味わったとのことである。玉越君の話で印象に残るのは孫娘の結婚式のこと、新しいスタイルの「人前結婚

なるものが紹介され出席者の関心を引いた。このスタイルは神官も牧師も呼ばないで、友人が司会を勤めると共にQ&Aの形式でご当人の経歴や気持ちを臨席者に紹介するというものである。したがって、従来見かけた仲人の歯の

浮くような個人の紹介がなく極めて客観的でユーモアのあることが特長であるとのことであった。林君も腰痛で悩まされているとのこと。また林君の会計報告があり五一会として数万円の残金のあることが報告された。諫山君と原崎はパソコンを使ってEメールを交換している。原崎郁平は数日前にスコットランドとロンドンの観光旅行から帰国し現地の写真を回覧した。最後に広瀬毅君はゴルフ、写真、

バードカービングをやっているし、現在大船で開催中の写真展で入選作を発表している。食事終了後、校歌を四番まで斉唱し再会を約して解散した。写真は前列左から玉越俊一、林盛次、田中賢一、後列左から諫山廉、高橋達朗、広瀬剛、原崎郁平の7名である。

六〇期同期会

60期 笠間達男

四月十一日（恒例の四月第二金曜日）、会場はこれまた恒例になった静岡駅前「ブ



ケ東海」で六〇期の同期会が行われた。例年は夕刻から始められた会が、今年は午後一時から始まった。東京から日帰りの身にはありがたい。

参加者三十七名。関東同窓会から井田淳、上杉重吉、川口光次、山本正三と笠間の五人が参加した。毎年、座をにぎわせていた宮崎博文、鈴木達正ら四人が亡くなったのは

淋しい。
初めて参加した鹿児島
「馬の学者」大塚閨一が乾杯
の音頭をとって会が始まっ
た。

今年には日本人男性の平均寿
命に近い喜寿を迎える六〇期
は、静岡大火の一四四〇（昭
和一五）年に入學し、敗戦濃
厚な一九四五（昭和二〇）年
に、三菱発動機の工場動員中
に卒業した。徴兵年齢に若干
遅れたため、戦場で死んだ仲
間はいないが、空襲で死んだ
友や、戦地や軍の学校で敗戦
を迎えた友も少なくない。

波乱の昭和時代を体験した
世代だが、「面白い時代だっ
た」という思い出が語られる
のも、昭和は遠くなりにけり
りくということだろうか。思
えば母校の歴史百二十五年を
二つに折ると、その折れ目に
我々が学んだことになる。

医師の仲間を囲んで健康問
題が話題になったり、子や孫
が話題になったりした。中に
は、静岡・清水が合併したの
で、孫を母校に進学させた
という清水の友もいて、話は
尽きなかったが、三時三十分、
校歌斉唱で散会した。

六一期同期会開催報

61期 大村富士男

開催日は平成15年4月2日
土曜日午後5時30分から。ホ
テルアソシア静岡ターミナル
で。出席者数は連絡可能人員
173名中73名。開催日が4月第
二土曜日といつの頃からか決
まっているためにか、幹事諸
兄の努力のお陰か、昨年より
2名多い73名の出席を得て気
象庁の天気予報が外れて雨天
となったにも関わらず盛大に
開催された。例のごとく会計
報告が行われた後、昨年度の
物故者が報告され、さらに浦
田校男君の叙勲と卒業以来初
めて出席の永井左門君の名前
が報告された。さて、同期会
は毎年開催されているもの
の、お互い顔を合わせればた
ちまち58年前の若者に（身体
の老化も打ち忘れ）たちかえ
り、席を立ちあるいは席に友
を迎えて、杯をかわし肩をた
たいて談論風発約3時間、最
後に幹事諸君の提案で来るべ
き喜寿を記念して再度文集を
作るうとの動議が出され、静
岡中学校校歌を一番より四番
迄、これも例年の如く望月良

君の音頭で合唱して終わっ
た。



六十四期

春のゴルフ会

64期 佐野 旭

4月24日、小雨、ガス模様
の小田急西富士GCに19名が
集まり、第37回関東、静岡合
同ゴルフ会を行いました。

このところ「前日雨、当日
晴」のコンディションが続い
ており、今回もコース到着時
には「どーする...」「風邪を
ひいたらなんにもなんないよ
ー...」などと言っていた面々
も「みんなの平素の行い」と
「天気予報」を信じてスター
トしました。

午前中、若干ガスに悩まさ
れたものの、傘をさすことも
なく、明るさの増したコース
を、球を追い、小鳥の囀りを
愛で、林に入ったり出たり、
池ボチャで鶯鳥にわらわれた
りしながら、楽しくラウンド
しました。

優勝は小川哲司君、昨年少
内障の手術をしてからゴルフ
の見通しが極めて良く、若い
頃の調子を取り戻しつつあ
り、ネット71で見事初の優勝
楯を手にする。そして「みん
なが悪すぎたので、場違いで

優勝してしまった、ティショ
ットは殊の外良かった」と回
想。

前回、奥様孝行賞の永田進
一君、今回は奥様に気持ちよ
く送り出されたせいもあって
か、ネット81で準優勝とニア
ピンを獲得、やっとな膝痛から
開放され、回復傾向にあるも
の、本来の姿には今一息の
感。

過去3回優勝実績のある
大石次男兄、ネットで82で
3位、同時にニアピンも獲得、
「どんなもんじゃ...」と実力
の一端をみせる。

ベスグロは、いつもの名前、
渡辺進武君の93。彼にしては
一寸悪いナ！

前後半ともに40台で回っ
たのは、同君の他、稲森照男
君（6位）、清水照彦兄（7
位、N、P）風間政彦君
（10位）、の僅か4名、ベス
グロ常連の伊藤剛君（15位）、
村上岳代二君（11位）は、
共にインの調子が悪く、珍ら
しく3桁のスコアに甘んず
る。

先般静岡へ転居した渡辺宏
一君、「6ヶ月間クラブを振
つていないと、こんなに腕が

落ちるのか……と驚いた、次回は頑張る！」と、残念のB、B賞(でも奥様孝行ですよ、次回の復調を期待しています)。

メーカーの村松敏雄君には例により「次回こそアタルンダ賞」。仲野君の出場を待っています……と。

このところ調子上昇中の野沢正憲君、周囲の「上位入賞予想」を覆えし、今回も実力発揮出来ず5位、やはり大会会長の気苦労のせいと思われる。(毎回、普段より10も余計に叩いているヨ、でも会長辞めては困るヨ!)

前出以外のN、Pは、井上公司君2ヶ、漆畑輝夫君、鈴木高保君と佐野旭。

前回優勝且つN、P2ヶの漆畑茂君、不調の今回は無冠の8位に終わる。

時田勝博君(静岡幹事)前回より10打も叩き12位。

前回準優勝の石原良昭君(同じく幹事)ウオーキングの効なく14位、ウーム疲れた。(幹事と運転手は実力発揮出来ないヨネ……)との陰の声。

帰路、東名高速道、裾野―大井松田間、キリ、雨、速度

制限50K、とありました。傘もささずにゴルフの出来た西富士は何だったのでしょう。

そうです「やっぱり、みんなの平素の心掛けの良さ!」と、一人納得してハンドルを握っていました。

◎本日の偶然

申込順に組合わせたのですが、某組4名全員が同じメーカーのクラブ。然も3人が同じ型番の珍事。キャデイさんが製造番号やら、シャフトをチェックしながらバッグに収めていました。こんな偶然キャデイさんも初めてだそうです。

快挙

先般、佐野旭君が奥武蔵Cでホールインワンを達成されました。この快挙を祝して、パーティ席上、64期静岡地区ゴルフ同好会一同から、記念のゴルフ人形(スペインリアドロ製)の贈呈式が行われました。

それにしても、ホールインワンとは、「快」挙?、それとも「怪」挙?。

「盲亀の浮木」を信じて

これからも挑戦です。

ヤッテシマイマシタ

64期 佐野 旭

「人がやると感激するが自分がすると恐怖」

万年ダツファアの小生が、とうとうやってしまいました。ホールインワン。

時は昨年12月25日、奥武蔵の1打は、青空にくつきりと弧を描き、ピンに向って飛んで行ったんですが、光芒に遮られて見失ってしまいました。キャデイさんも「最後が見えなかったけど、いい所へいきました。一寸大きかったかも……」。

この時点では、誰一人ホールインワンなんて思っても居ません。勿論本人も……。当たり前です。ここまでは、No14、P5ではOBを出して8、No15、P4は、3打、4打とザツクリ、キャデイさんから「どうしちゃったんですか……?」と言われ、やっと乗ったグリーンで4パットの9。従ってこのショートホールの最終打者には、誰も見向きもしませんし、前の組はすでに次のホールに移動済。正

に「虚心坦懐」(キョシシタシクワイと本告先生から教わりました)の一打でした。グリーンの傾斜から、左に落ちたかな?と思い、クラブを2本持ってグリーンに行ったらボールが無い、「ワタクシメノボールガナイヨ!!」の声にもパトリナーは無反応、周囲を見ても無い。

すると唯一人「私は何となく……と言う気がするんですよ!!」と言った2番打者が、カップを覗き「キャーあった!! 入ってるウー……」。

極めて冷静な?小生、「あー入ってたの!!」。でも、感動とか感激の前に去来したのは、「巨額散財」「恐怖」「何をしたらいんだ」……。

以後はやっぱり冷静にプレー出来ません。

唐突千万、天変地異、驚天動地、顔面蒼白、心悸亢進、頭中真白etc、昔授業でモトキツチャン(本告亮一先生、国漢)から教わった様な四字熟語の数々が頭をよぎります。

ラウンド終了すれば、何のことはない、クラブから、ホールインワン証、記念品、トロフィーを頂戴し、更に記念

各期の会員の住所録をPCに登録・管理しておりますのでご利用下さい

各期の幹事又はそれに準じる方のご依頼があれば、その期の住所録をコピーしてFAX送信、又は、E-MAIL送信を致しますので、利用して下さい。

- | | |
|---|-----------------------|
| 会員増強委員会 垣生 尚敬 (78期) | TEL 0468-66-2304 (自宅) |
| E-MAIL yas1habu@poppy.ocn.ne.jp | |
| 広報委員会 山梨 由記 (73期) | TEL 047-478-6906 (会社) |
| E-MAIL kingsmil@cba.att.ne.jp | FAX 047-478-6907 (会社) |
| 広報委員会 高橋 宏 (87期) | TEL 03-3756-5851 (自宅) |
| E-MAIL hiroshi3.takahashi@toshiba.co.jp | FAX 03-3756-5851 (自宅) |

● ホールインワンの記録集 ●

- ★ 史上最年少者は
 * 1975年 コロラドリトルトン
 コピーオーフ君 5歳
 (リバーサイドGL no.5 103yd)
 * 1979年 メルボルン 6歳
 * 1968年 ウェストバージニア
 6歳と7日目
 * マイアミのジョン ドアイ君
 7歳から10歳まで毎年1回
 ★ 女性では 1977年
 レベッカ チェイス嬢8歳
 ★ 最年長者は 1987年
 ドイツのバンス爺さん
 スイスで 91歳5ヶ月
 (夏坂 健氏の資料より参考)

品業者からのパンフレット、ボールメーカーから記念ボールプレゼントなど、手続きについても至れり尽くせり、ラウンド中のモヤモヤは正に超越苦労そのものでした。

以来約2ヶ月、粗品をお送りした仲間からの励まし、ご指南、同情、やっかみ、丁寧なお礼の数々、本当にご迷惑をお掛け致しました。

ホールインワンは、本当に「降って湧いた幸せ?」「悪夢?」「奇跡?」「快拳?怪挙?」...こんな事が起ると、小生のゴルフもイヨイヨ終盤かな...と言う気もして来ます。ついでにバラします...面白い反応をご紹介、

「ホールインワン記念の御

礼は、ホールインワンをして返せ、と言われますが、出来ぬ不幸をお許し下さい...」

「あなたがホールインワン?世の中不公平ですね...」

「ホールインワン直後の恐怖?それは保険屋さんだろ...」

「他の保険の世話にはなりたくないが、これだけは早くとりたいたい...」

「一度やると何度もやるよ...、保険は沢山掛けとけ...」

「次の記念品は何...」などなど

ほっといて下さい、7000回に1回の確率だそうですから、もうありませんヨ。

次の、あなたの番を待っています。

静中・静岡テニス部
関東OB会

67期 児島英男

テニス部、関東OB有志の集いを、平成14年10月26日(土) 明治神宮外苑テニスクラブで開催予定でありましたが、当日は生憎の雨でテニスコートの使用が出来ず、残念乍らテニスプレーは中止となり、夜の懇親会のみ青山メトロ会館で開催致しました。

静岡から鈴木敏朗先生(生物)はじめ柳沢学氏(68期)大石久氏(72期)藤山正敏氏(80期)が参加され、清水汪氏(59期)のご挨拶、鈴木敏朗先生の乾杯の音頭で宴会に入った。

児島より、この会も今年で10年になりましたが、その間静岡・静岡テニス部が戦前・戦後に亘り大変お世話になった旧制静岡高校、静岡大学名誉教授の斎藤久雄先生(独語)が平成4年12月ご逝去になられたこと、又戦後テニスのイロハから、我々にご指導いただいた、山田幸作先輩(54期)も平成10年9月ご逝去になられたこと等の報告がなされた。又嬉しい話では、平成9年秋の叙勲で清水汪先輩(59

期)が勲2等旭日重光章を受章なされたこと等の報告がなされた。鈴木敏朗先生からテニス部顧問時代の面白い思い出話、柴田克朗先輩(63期)より戦後まもない折、テニス部が発足した当時の苦労話、柳沢学氏(68期)と藤山正敏氏(80期)から静岡のテニス部の活動状況等の報告があり、昔話に花が咲き、楽しい一夕を過ごすことが出来た。

最後は、藤山正敏氏の音頭で「岳南建児」を合唱し、次回の再会を誓って、散会した。なお今回より、この会の幹事役をお願いした、藤山崇氏(86期)に感謝致します。(当日の参加者)



鈴木敏朗(先生)
 清水 汪(59期)
 柴田克朗(63期)
 児島英男(67期) 立花雅一(68期) 柳沢 学(68期)
 増井良敏(68期) 羽生尊司(68期) 川端正良(70期)
 大石 久(72期) 山中博司(73期) 大河内久(73期)
 藤山正敏(80期) 藤山 崇(86期)

去る10月26日(土)は雨で、テニスプレーが中止になったため、有志が集まり11月28日(木) 明治神宮外苑テニスクラブで、開催した。静岡から鈴木敏朗先生、大石久氏(72期)ご夫妻も参加され、好天に恵まれ、風も無く絶好のテニス日和の中、楽しいプレーに興じた。夜は神宮外苑、並木通り裏の中華料理店で懇親会を開き楽しい一夕を過ごした。(当日の参加者)

鈴木敏朗(先生) 諸田実(61期) 児島英男(67期) 立花雅一(68期) 大石 久(72期) 山中博司(73期) 大河内久(73期) 計良知子(82期) 成岡和美(86期) 藤山 崇(86期) 大石徳子(大石夫人)

78期関東静高会報告 《桃源郷の集い》

伊藤洋之

78期関東静高会は、本年大半の人が定年を迎えセカンドライフを始めるようになる。こんな節目であるので年間を通じ、様々な企画によって昨年以上の同期会の盛上げを図ろうと準備を進めており、既に都内で幹事会4回、おそらくは今後も毎月集まりが続くであろう。計画の中には、10月総会に先立ち、9月に山梨の牧丘でホテルを全館借りきりにした拡大懇親会開催を実行する目論見がある。本日は、その下見を兼ねて山梨市駅に幹事会集合がかけられた。

78年度幹事団は、世話役達人で永世幹事の垣生尚敬君、昨年40周年の際、記念CD出版と同期会専用ホームページを立ち上げた電腦幹事の川崎敏弘君、或いは、国際ジャーナリストで総会会場手配幹事の柴田環子さん等の中核常連共々、構成員が年々増加している。必要に応じ役割に過不足なく名乗りのあることが78期関東会の誇りとして。



行幹事として、この誇りを即証明してくれた。加えて、静岡本部から会長野桜雅敏君、事務局海野祥司君の参加があり、総勢13名の参加となった。山梨は西からの前線によって終日雨、との予報がでていたが、幸い新宿を出る頃からずつと曇り模様が続いていた。特急あずさ83号で大月を越え、甲府盆地にさしかかる辺り、線路の両堤は東京では散り始めた桜が満開で早くも皆からホーツと歓声があり、様々な花模様を満喫できそうな予感があった。駅前では、望月君が自ら桃のイラストを描き込んだ大きな看板のよう

なウエルカムカードをもってお出迎えた。まずは昼、つかさの「ほうとう」を味わった。一切の肉類を除いて南瓜と山菜のみによる炊き込みうどんは旨かった。20人用の大鍋から望月君の手盛りにより、次々と全員ドンブリ2杯もたいらげた。聞けば、お客の到着時間に合わせ前夜から準備するとのこと。美味しいはずだ。市街地は、一寸した空き地にも満開の桃の花が咲き乱れており、その隣は白い花をつけた李の木、住宅の庭や垣には雪柳・連翹・海棠など、それぞれ花の時期を欺かんばかりに全ての樹木の花が一斉に開いており堪能させてくれる。

慈雲寺の樹齢千年と言われるイトザクラや境内の様々な花、さらに観光客があまり立ち入らない周林寺のイトザクラ等、どれも立ち去り難く短い時間をうらめしく感じた。続く桃源郷は期待していたとおり花に酔えた。開花の状態は今日がベストで、昨日でも明日でもないどの微妙なタイミングのようだ。ただ、この頃から小雨が降り始めあいにく、というところだが、薄けむりの桃畑も一興だった。ことに、笛吹川を挟んで土手下の両サイドに広がる数千本の桃の木は、確かに桃源郷の名に相応しく延々と続いて香りを運んでおる。ここから塩山方面にかけて、標高が少しづつ上がるにつれ、まばらになってくる桃の花色が、少しづつカラーリングを薄め桜色に変化していく様も面白いものだ。さらに花木は、山吹や白もくれん、所々には都会では終わったはずの辛夷やこれから満開となるはずの馬酔木の木などしだいに開花中の樹木が種類を増していく。牧丘の里は巨峰の発祥の地として、元祖巨峰の本物の味わいが可能な農園だそうだった。秋の集合に期待を膨らませつつ次のサントネージュワイナリーのテイステイング会場へ急ぐ。

- 同日の旅日程としては、高密度な、しかも仕上げは正徳寺温泉でのくつろぎ、再び駅前にて一升瓶のワインを抱え込んだの餃子パーティまで含め、大変忙しいスケジュールだったが、全員大満足。秋はさらに味覚を中心に楽しめそうな確信を得て、散会しました。
- 該当期は80期から新卒業期までの全期とします。
- 一人参加に付き、二千元を支給します。
- 期ごとで最高二十五名分で五万円までとします。
- 最低参加人数は十名です。
- 年一回だけ補助します。
- 適用期間は平成十五年一月から十二月までとします。

開催された月日と会場と、参加者名簿、幹事名(複数)を記載して報告して下さい。

問合せ、申込先は事務局までお願いします。

野方法律事務所 野方重人
TEL 03-3251-2348
会員増強委員会 垣生尚敬
TEL 0468-66-2304

静高鶴田夏につながる9人完全斬り
静高が静商を下す 静高―静商定期戦で

静岡高と静岡商高の第四五回野球定期戦が四月二十七日、草薙球場で行われ卒業生や高校野球ファン、生徒ら約三千人が伝統の一戦を楽しんだ。試合は静高の繰り出す3人の投手陣が二十九日から開幕する県大会に出場する静岡打線を散発の2安打に抑えて3―0完封。特にプロも注目する先発鶴田健太(三年)が3回完全と、夏に向けての好投を披露した。

スタンドには両軍の一般生徒が応援に駆けつけた。プラスチックが鳴り響く夏と同じ雰囲気だ。春の県大会出場を断たれている静高にとつ



し向高 先に静 夏に静 高を投 鶴田 健太 先発 3回 完全 静高 投手 陣が 29日 から 開幕 する 県大 会に 出場 する 静岡 打線 を 散発 の 2安 打に 抑え て 3― 0完 封。 特 にプロ も注 目す る先 発鶴 田健 太(三 年)が 3回 完全 と、 夏に 向け ての 好投 を 披露 した。

て、静商とのこの対戦は大きな意味がある。「とに角楽しく投げられました」とは先発に指名された鶴田。2番手のエース川口盛外(3年)になく迄の3回を9人でピシヤリと封じ完全リレーの流れをつくった。25日の練習中に先発を言い渡されから「ワクワクしていた」とこの日を待ち望んでいた。MAXは県内最速の141kmを誇り、プロもその成長に熱い視線を注いでいた。春はチームが初戦で敗れたことで出番を失ったが「自分の目標は春じゃなくて夏。これからの練習試合で信頼を得ていけばいい」と前向

きの発言。2週間前の富士宮西戦で3安打12奪三振完封。結果もついてきた。「フォームもまだまだですが段々と調子は上がっている」と投げるたびに首脳陣にアピール。畑田裕視監督も「お客さんがいる中でいい経験が出来た。もっといいんじゃない?」とさらなる飛躍を求める。投手陣の良さが目についた反面、打線は5安打と沈黙。栗田重徳OB会長は「こんなんじゃない子園なんて到底無理だ」と勝利にも表情は険しかった。静商を3―0で下して対戦成績は静岡二十八勝、静岡十七勝



静高が3―0で静商を下した野球定期戦
―静岡市の草薙球場



となった。両校はスタンドの応援でもしのぎを削った。静高が創立百二十五周年記念で作った新応援歌「讃歌」も交え、オーソドックスなスタイルで声援を送ると、静商はリズムカルな曲や踊りを披露し、華やかさで選手たちを励ました。(スポーツニッポン新聞提供)

★★★★★★ 静中・静高関東同窓会 ホームページ便り ★★★★★★

このホームページを作成して、3年目になります。ご利用を有り難うございます。

少しづつですが、掲載内容を更新しておりますので、是非、ご覧下さい。

- 静中・静高同窓会 <http://shizuko.cc> (静高はココ と読みます)
 - 静中・静高関東同窓会 <http://kanto.shizuko.cc> (関東静高はココ と読みます)
 - 同 関東同窓会メールアドレス kanto@shizuko.cc (広報担当 石川宛て)
- 広報委員会 石川嘉和 (87期)

★ 各期幹事一覧表 ★

幹事が変更の場合は事務局までお知らせ下さい。特に幹事未定の期は至急選出してご連絡下さい。

72	桜井亮介・深田均
73	山中博司・山梨由記
74	後藤孝子
75	佐藤鐘司・藤原經史
76	酒井孝太郎・鈴木浩
77	清水雅尚・野方重人
78	三浦位通
79	鈴木藤男・垣生尚敬
80	上田尚亮
81	吉野卓史・上出和子
82	仲谷博明・岡部政之
83	本多英一
84	堀内淳司
85	山本雅敏
86	池田幸司・深津俊郎
87	成岡和美・井出慎吾
88	藁科名雄・石川嘉和
89	高橋 宏
90	鳥巢 修
91	荒井千明・米澤宣行
92	山野直文
93	岡村幸彦・大羽章弘
94	松野敦子
96	奥田規之・細沢 優
97	清水智人
99	小泉輝武・開発啓之
107	海野幸雄・後藤弘枝
71	浦田 彰

- ★ 関東は広くて友人と会う事が出来ない。
- ★ 同期会のチャンスも作って、楽しい集いを作して下さい。
- ★ 幹事未定の期は……至急選出してご連絡下さい。

『江ノ島会』のご案内

毎年九月の第一日曜日、その存知「江ノ島会」の日です。

毎年毎年、静中・静高のOBたちが湘南の江ノ島に集って五十余年、今年の「江ノ島会」は第五十六回になります。江ノ島への長い参道橋を渡ってすぐ左手、大先輩の永野清さん（35期）が経営していた「恵比寿屋」が変わらぬ会場です。

会のスタートは正午。毎年、静岡からも校長先生をはじめ同窓会の幹部も参加されて談論風発、日の暮れるまで楽しい語らいが続きます。会費は一万円（通信費などを含む）。岳南健児健女の皆さん！残暑の中にも秋が忍び寄る一日、湘南の潮風に吹かれながら、久闊を叙し、旧交を暖めませんか。甲子園への夢なんかも語り合いながら……。

黒田秀幸（67期）
雨宮明生（68期）
問合わせ先 黒田宅
☎045（261）5181

富士山に登ろう

73期 山梨 由記

清水駅の近くで育ち、清水港から眺める富士が清々しく、雄大で、美しいと惚れ惚れしながら、そして静高の近くに引越して、自宅の窓から毎日眺めて、その内にきつと登って見ようと思いつきながら、いつしか64歳を超えてしまった小生です。静岡に生まれ、住みながら未だ富士山に登りしなかつた方々も多いと思います。経験者の同行者も募ります。初心者向けとも中高年向きとも言われますが、安全第一を心掛けましょう。登山方法は鉄道の階段を一步一步登る歩幅でゆっくり、焦らず登るのが基本です。富士登山の歴史は古く八七九年の記録が残っている。平安時代は信仰の対象として、室町時代には富士講が生まれ、登山者も急増した。江戸時代には宿坊、石室が発達し浅間神社信仰にも結びついて富士登山が増大した。当時では江戸から往復八日の旅であったとぞ。

出発日 7月6日（日）新宿駅西口に集合時間10時30分。京王高速バスで五合目まで2時間30分。六合目まで登山。雲海荘にて宿泊。翌朝より頂上を目指し約5時間か

第二十六回

印高会ゴルフ会

開催日 十一月二十六日（日）
袖ヶ浦カントリークラブ
参加者 十五名
優 勝 仁科 光司（77期）
二 位 松永 秀夫（77期）
三 位 小池 勝之（77期）

70期の清智さんのご紹介で紅葉に映える名門コースでやる事ができました。参加者が少なく淋しい思いがしました。
次回開催は六月二三日（月）青梅ゴルフ倶楽部で昼食付きで一万四千元で行います。ぜひ、参加して下さい。
ご希望の方は、事務局迄ご連絡下さい。（77期 清水雅尚）

PC**PC**PC* パソコン奮戦記 その4 *PC**PC**PC

この春から、得体の知れない伝染病菌が中国、台湾、香港などで蔓延して、多くの犠牲者が出ている。健康生活だけでなく、経済活動の低下まで、その影響が現れてきました。コロナウイルスの一種でそれに対するワクチンも開発されたと聞き、早く治療、完治して欲しいと思います。さて、パソコンの世界では、もう、ご存知の通り、コンピュータウイルスが世界のPCに、誰彼無く飛び込んで来て、PCのソフトを破壊してしまう、迷惑千万ですね。貴方は、要らぬものを頂戴した事はありませんか。メール（文章）だけでは、ウイルスは運ばれないで、必ず添付されたファイルの中に入って来ますね。

73期のF君から毎週土曜日には、近況を知らせる数行だけではあるけれど、Eメールが来るのだが、ある時、彼にしてはファイルなどを添付して送信する事など無いのにファイルが付いて来る。それだけでもおかしい（失礼）から、頭から疑って消去してしまった。大切な要件なら、何か言って来たら、その時対処すれば良いのだからと。消してしまった時、彼から電話がかかって来て、「オイ山梨、俺のEメール、どうした」質問の内容がわかったので、のんびりと答えた。「ウン、もう消しちゃったよ」「ウアー良かった、俺のPC、ウイルスにやられちゃうし、友達全員の処にウイルスを配信してしまって、大変な迷惑をかけてしまったんだよ、恐いもんだな。」「そうだなァー」「山梨、どうしてわかったのか、」まァー、二つの理由でね、その1は、おまえがファイルを添付するはずが無い事。そうだろう。その2は、確かな根拠は無いのだが、直感として、F君の名前やタイトルの活字が一見して、水に滲んだように、崩れていたからさ」「ファイルを送る事はないもんなァー、しかし、そんなので分かるんかよー」「もう百戦練磨で鍛えられているんでね。」「俺は、ウイルスにやられたPCを修理出来ないんで、技術者になおして貰わないと、他人に迷惑掛けだし、修理代は掛かるし、イヤ参った」数日の後、73期のO君は知人の名前のメールが来たので何も疑う事も無く、ファイルを読もうとして開けてしまった。その結果、自分のPCに登録してあった知人、友人のアドレス全部が利用されて更に那些人にウイルスをばら撒いて仕舞い被害を拡大した。「おい、山梨、おまえの処にウイルスが飛ばなかったか？」「ウン、来てないね」「アァ良かった、おまえはタフだからなァ。一人でも被害者が少なくってさ」「F君がやられたけれど、関係有るんか」「イヤァ、日にちが違うんで、別だろうよ。自分の仕事はそっちのけにして、直すのに48時間も掛かっちゃって。ソフトを入れ替えたりしてサー。」○最初のF君の話の中で、活字が水に滲んで、崩れていた云々は、その当時は、確かにその推測が当たっていましたが、今は、そんな事はありませんのでご注意下さい。今はきちんとした活字でウイルスを運んで来ますから。○自分で作ったホームページが7本有って、インターネットに乗せ、連絡先としてEメールアドレスを記入してあるので、国内の様々な業者から、複数の外国からも読めない文字でメールが来る。そして、ウイルス付きもやってくる。2002年5月は9回、6月は10回、7月は8回、8月は10回、9月は12回、10月は1回、11月は1回、12月はゼロ回、2003年と年が変わって1月2月が無くて、3月は3回、4月は8回、5月は2回来ましたね。PCの脇にメモ用紙を置いて、正の字を書いて記録しております。ハイ。

オヤオヤ、寒い時は、ウイルスさんも動き難いのかね。○今では、加入しているサーバーが会員に配信する前に添付されたファイルを検査して、もしウイルスが入っていたら破壊して中を空っぽにしてから加入者に配信し、ウイルスを退治しました、と書き添えて呉れるシステムが出来ていますから、そのようなサービスをするサーバーに加入すれば安心ですね。

山梨 由記 (73期)

平成十四年度会費拠出者

平成14年4月1日

15年3月31日

順不同、敬称略、寄付金を含む。

カッコ内の数字は拠出額、単

位千円但し、年会費三千円

拠出の方は、金額の記載は

無い。

44 白井茂

47 田中達夫

48 青木香、原崎進一(12)、岩崎鑑一

49 杉本久敬(6)、嶋三四郎、長井廣

50 田中誠

51 田中賢一、原崎郁平(6)、永井五一郎、森弘(6)、渡辺功(5)、難波悦朗、綾部立一、林盛次、伊藤演吉

52 茂呂茂樹、服部雅雄、大草和久、西田豊馬(2)、新美弘(4)、曾根信一(5)

53 桜井昌也、志田寿一、片桐鎮夫(5)、木宮高彦、小野一夫、望月昂、橋本久仁寿、宗像醇(6)

54 大畑忠夫、安藤哲夫(6)、居初良雄、柴崎芳三

55 青木道生、長澤榮一、松井保治、小沢忠樹、山下武男、塚越修、堀江重遠(4)、宗四朗、日比光明、相川富士雄

56 横森桂、原田昇左右(6)、青木良文、清水逸郎(6)、鈴木源一、石塚由雄(6)、奥野進(6)

57 岩井平一郎、坂田秀雄、望月修(6)、影島利邦(6)、米澤正次

58 奥野弘、末廣照男、須山静夫(5)、海野進(6)、島村悟、望月恵一、伊藤健三

59 大村和夫、伊藤光雄、福地彊(6)、寺尾宏一郎、望月靖久、増田勝郎、清水汪、増田真一、狩野和男(5)、小花敏郎、田澤義彦、川田昭、内田武一、青山勇(2)、長谷川邦三、本田豊、原淳、長田宏、小澤将男

60 内藤敏夫、新間昌輝(6)、上杉重吉(6)、時田正康、増田清聞(6)、逸見昭三(6)、谷龍治、山路敬三、山本雅之助、井田淳、堤崇、石関忠雄、黒田武之助、水野喜友、小林金次(6)、萩原莊太郎、山本正三(6)、渡辺博、笠間達男、君島康弘、有田克己

61 八木貞二、山崎和夫、清水照彦、岸沢博樹、君島敏男、坪田昭三、片桐篤、高山秀男(6)、奥野泰助、高村岳史、黒川泰三、青木邦彦

(4)、土井正園、萩原将弘、清水澄夫、大石次男

62 遠藤良司、川手生巳也、三枝弘之、吉川隆士、山梨長二郎、横井一

63 遠藤栄(5)、狩野達彦(5)、山本和彦、望月康逸、佐藤弘幸(6)上杉英雄(5)仲野實(6)、田中耿(6)、新井彰、井戸良輔、神谷武男、岩本吉雄、栗田行雄(5)、竹内豊、永田進一、長谷川直和、益頭尚文、村上喜代、一望月垣、柳田莞、渡辺宏一、野沢正憲、八木綱三(6)、猿谷秀雄、蛭川博之、長嶋健(6)、鈴木明郎、佐野旭

64 大坪信之、山下裕一(6)、小林成敏、瀬尾章、小嶋清司(6)、小林五郎、大村敏夫、菊田總裕、浜田裕志(5)、曾根錦吾(6)、村越立彦、浮田泰治、藤原隆二、河守輝雄、増井和夫、中島睦生、石川劍一、大塚修弘、堀木博禮(10)、石川隆亮、中村伸吾、安池智策、森山秀夫、三原載、武藤勇、加藤博司(2)、川合勉、馬越峻、村松武司、藤原朝則(6)、田中俊男、馬淵逸明、内田幸雄、山梨裕司、原野谷朋司

65 遠藤栄(5)、狩野達彦(5)、山本和彦、望月康逸、佐藤弘幸(6)上杉英雄(5)仲野實(6)、田中耿(6)、新井彰、井戸良輔、神谷武男、岩本吉雄、栗田行雄(5)、竹内豊、永田進一、長谷川直和、益頭尚文、村上喜代、一望月垣、柳田莞、渡辺宏一、野沢正憲、八木綱三(6)、猿谷秀雄、蛭川博之、長嶋健(6)、鈴木明郎、佐野旭

66 丸山英久、梶原由三、福原亨一(6)、矢部隆、山川静夫、加藤友行、塩澤満(10)、松岡健、小杉謙一、手塚重明、朝比奈正三、遠藤一彦、鈴木敏行、牧田仁男、増田安国、大森恵吉、美濃一朗、戸塚惣雄、長倉孝三、岡村英二郎、川上剛二、小坂博、児島英男、小杉弘、朝倉勇、黒田秀行、大石脩而

67 松下司郎、高橋俊見、植田勇夫、吉崎英輔(6)野中省三、石川堯昭(2)、鈴木俊彦、大石康博(6)、小林功典、江崎善三郎(5)、塚本浩司、田中英夫、雨宮明生、星野敏郎、望月節、河口浩(6)、宇田貞子、秋山和也(4)、市原卓、瀬堂川徹、大川庄司、酒井定子、栗田瑞夫(2)、稲葉清、瀬口寿一郎(6)、荒谷じつ子、杉山和子、森下健、

68 望月道生、中村敏郎、堀場千賀重

69 清知、有田久(6)、関哲男、佐々木政之、片山智司、仁科正雄、大蝶晴美、富田三樹、中村龍一、大高源之丞、村松勝治、石山博、柳澤伯夫、調子達郎(6)、久沢正雄(6)、中村嘉男、山田恒男、北村孝、松永茂

70 水元正明(10)、本間啓司、浦田彰(6)、川上貫三、加藤祐史(6)、小池啓治、富野寿、矢部正和(6)、後藤弘枝、遠藤吉隆、実石欣哉(8)、酒井力、梅原孝允、奥村鋭一郎、丸山安彦(6)、友田勲、西野章、宮崎次朗、片山嘉博、佐藤利治

71 山口公子、種茂雅之(6)、松木茂夫、深田均、清水雅彦、小林丈矩、仁藤宏次

72 松下勝朗(6)、中西英一(6)、中西宏幸(10)、桑原敏久、池ヶ谷章(6)、遠藤聰、深澤靖男、塩津浩、大木茂(4)、遠山敦子、鈴木豊、石川久男、杉山正三(6)、加藤元彦、鈴木斉、青木俊一郎(6)、石川征四郎、石川博巳、石川八洲夫、石割浩司、大石勲、大村春樹、奥村至朗、後藤宏、近藤守、三枝通康、佐々木勝彦、柴山欽伍、杉山親司、杉山光、杉山洋司、鈴木智彦、鈴木良明、関悦男、富田彬道、永田俊彦、中野敦夫、西澤秀雄、西本昇平、牧野昭雄、松永文夫、三浦英夫、望月篤(6)、望月公美、山中博司、山梨由記、山本一雄、山本昌秀、渡辺雅俊、林三

ち子、岡本修

74 藤原經史、佐藤薫輝、望月保、井鍋正良、角谷治子、佐藤鐘司、佐藤捷造(6)、松下晴一、水上雅雄、田中佐知子、細川紀子、花本栄一、桑原英明、桑原伊玖子、見城尚志、田形嘉之

75 佐藤修二、稲葉元夫、篠原興、勝亦正吉、今田肇、大島崇志、小林銈一、伊藤義則、鈴木正孝

76 伊藤哲治、富田駿介、鈴木浩、齋藤俊英(6)、小長井伸子、安東伸彦、杉山貢、杉浦良弘

77 三浦位通(6)、石山建一、森正数、石間啓一、伊藤達雄、武田恒章、大岩蓮、小長井奎幸、仁科光司、清水雅尚、後藤嘉代(5)、坪井孝夫、野方重人、加藤重信、藤井尚子、大村信子、村松貴彦、岩崎敏宏、磯谷計嘉、柴田哲男

78 宇田進一(2)、細野茂、斎藤登記男、縣保佑、小長井孝、加藤英雄、石川暢子、石田久徳、白木桃子、天草静子(10)、小林俊(5)、石井博之(6)、鎌田勇、奥山和子、富部保、鈴木藤男濤、村松洋子、今村史子、山上晴重、河辺正宏、多田真行、松下圭佑、垣生尚敬

79 野崎喜吉、菅野佳男、富野興(2)、稲葉啓一、上田尚亮、山本勝

80 吉田伸一郎、秋山幹男(6)、上出和子、小安義文、増田安久、小木哲朗、角谷勝彦、土田蜜子、吉野卓史、鎌田勝美、白井信行、玉井直子、原田雅之

81 水上俊彦、吉澤雅子、芹澤清彦、木多英一(6)、鈴木昌宏、白井勉、広瀬忍、松永旭、岡部政之、川田千代子、遠藤宏子、嶋田政子、仲澤幸子、川崎久美子、稲村直彦

82 金子恵子、池田整、青木興治、鈴木きみ(6)、堀内淳司(2)

83 浅井隆善、鈴木秀孝、大石高志、雀地真弓

84 塩谷立、藤田佳子(5)、戸塚康男、杉山篤史、吉野文江

85 三上嗣夫、池田幸司、高橋成彰、伊東成師、北條正裕、牧野英敏

86 近藤孝邦、井鍋香澄、安部敏陽、阿部緑

87 平石正史(6)、遠藤久資、塩川治郎、秋元るみ子、薬科名雄、高橋宏、水上浩司、岡田伸一、フルー文字

88 姫野友美

89 山崎真紀子、池田磨佐人、鳥巢修、新村暢宏

90 小川修史、川島雅行、小林明彦、多々良幸尋、米澤宣行

91 村松秀明、岩崎哲也

92 山野直文

93 海野典夫、岡村幸彦、魚住一貴、小澤薫、大羽章弘、志賀浦伴昭

94 亀山晴信(6)、大澤清、牧野英久、木村寿克、木村純子、大塚全里子

95 水江総宜、岡部正明、澤戸光代

96 中尾安志、前田恵吾

97 剣持勝、清水智人

98 池田良夫

99 仲澤美津子、村松富士雄、田旗裕也

100 五十嵐寧、岡田幸久

101 赤池伸一、大石智子、大石潤

102 花島大

103 田中友子

104 阿形達志

105 阿部俊一、山本勇夫(4)、勝又健次

合計五三六名の会費納入者で総額一、八六九、〇〇〇円で

した。同窓会員の親睦と会の維持のために会費の納入を、

お願い致します。

ひとりひとりの

ご協力を

総会や同期会などの会合には億劫がらずに出席し、楽しい一時を持ちましょう。

年会費の拠出者が年を追って減少し、さびしい事です。

関東同窓会の運営も難しくなってきました。

関東同窓会の円滑な運営のため平成十五年度会費(三千元)の納入を同封の振込用紙で、お願い致します。

なお振込用紙は会報の毎号に年会費の納入済み、未納に問わず同封しております事を、ご了承ください。

宛先不明のため、会報返送が毎回多数有ります。住所変更の場合は、至急一報の程お願い致します。

会報の広告募集 年2回(2万円)にご協力をお願い致します。詳細は事務局までお問い合わせ下さい。

事務局へのご連絡は……
〒10145千代田区神田鍛冶三丁目三番下ビル六階 野方法律事務所内
静中・静高関東同窓会
野方重人(77期)
TEL 03・33251・2348

次回の五十六号の原稿を募集しています。

★ 同期会、紀行、随筆、短歌俳句など。海外勤務、在住の方のメールをお寄せ下さい。本文、横40字、44行、略歴2行で次のアドレス迄送信下さい。次回の締め切りは、10月15日です。

kingsmill@cha.at.ne.jp

いよいよ7月4日は総会懇親会が行われます。役員会としてはその準備に追われていますが、又当番幹事の81期の方々の準備も着々と進んでおり、皆様と又お会いする事が出来そう嬉しく楽しみにしております。毎回この会報に寄稿して下さい感謝しております。原稿が有ってこそ会報になり皆様との交流の場となるからです。

○この頃、周囲の友人知人との間で介護の事が話題になる事が多くなりましたが、この会報では老いてなお若しの先輩諸氏が大勢登場します。いずれも健康で魅力があり、学ぶ事も多いと感心してます。さて7月の総会では満を持しての村松友視氏が登場です。お楽しみに。(T)

編集後記

鈴 与 株 式 会 社

取締役社長 鈴木与平 (76期)

静岡市清水入船町11-1
TEL 0543 (54) 3015 (秘書課)
京浜支店 東京都港区芝公園1-2-12
TEL 03 (3432) 7152

日本レーベル印刷株式会社

代表取締役 岩井平一郎 (57期)

本 社 静岡市国吉田3丁目1番1号
TEL 054 (262) 1111 (代)
東 京 中央区京橋1-1-6 越前屋ビル8F
TEL 03 (3272) 4651 (代)

株式会社 富士越化成

代表取締役 野澤正憲 (64期)

東京都品川区南品川2-17-11
TEL 03 (5783) 3841
TEL 03 (5783) 3755

自動車・火災・傷害保険 大高 保 険 事 務 所

代 表 清水雅尚 (77期)

東京都渋谷区東3-15-8
TEL 03 (3406) 9350
PHS 070 (5103) 8920

同窓会で人の輪を!!

野方重人法律事務所

弁護士 野方重人 (77期)

〈事務所〉

〒101-0045 千代田区神田鍛冶町3-7-3
数下ビル6階
(TEL) 03 (3251) 2348
(FAX) 03 (3257) 0820

昼2時より夜11時まで診療

タカラ歯科診療所

代 表 ^{ウラ} ^{シテ} ^{アキ} ^ミ 藁科名雄 (87期)

東横線 中目黒下車 徒歩5分
TEL 0120-376-480
FAX 03-3710-8847

相続税・法人税・所得税などのご相談はどうぞ!

鳥巢修税理士事務所

税理士 鳥巢 修 (89期)

OSAMU TOSU

〈事務所〉

〒167-0041 東京都杉並区善福寺1-30-17
TEL 03 (3396) 3858 FAX 03 (3396) 3848
E-mail: tosu@mtj.biglobe.ne.jp

調剤薬局……首都圏に50店舗

株式会社 アイセイ薬局

「医薬分業のパートナー」

代表取締役 岡村幸彦 (93期, 応援指導部)

東京都中央区日本橋蛸殻町2-14-5
TEL 03 (5651) 7200
<http://www.aisei.co.jp>

プロ野球選手 ご愛顧 28年

あのホームラン王も・有名なピッチャーも あの名監督も・コーチも

★★★ 高級仕立・オーダーメイド イージーオーダースーツ ★★★

確かな技術と縫製でご奉仕します

紳士服の 山梨テーラー 山梨株式会社 代表取締役 山梨由記 (73期)

千葉県船橋市前原西7-5-8 TEL 047 (478) 6906